

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kid'sTech尼崎		
○保護者評価実施期間	2026 年 5月 19日 ～ 2026年 6月 20 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026 年 6 月 1 日 ～ 2026 年 6 月 30 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 6 月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達障害をもつお子様に特化したプログラミング療育	利用者のニーズや発達段階に応じたパソコンのスキル向上を目指している	児童の状況を確認しながら、支援内容をさらに良いものを用意していきたい
2	パソコンについて専門知識を持ったスタッフがカリキュラムに関り、支援を行っている	心理スタッフによる、定期的なカウンセリングの実施	児童自身が、自ら「楽しむ」ことを楽しみながら、通える居場所になれるよう、雰囲気作りに取り組む
3	現在、中学生以上の利用者が多いので、落ち着いた雰囲気で行える	パソコンを使用しない時間を作り、コミュニケーションスキルの向上をめあてに、自分の思いを言葉にしてみたり、アナログゲームに取り組む	AI時代に合わせ、AIとの上手な付き合い方をしっかりと伝えていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスの充実	送迎可能範囲や定員人数に限りがある為	引き続き、人員・車両の整備を行うと共に、利用者の年齢が高いことを踏まえ、「送迎が難しい」ではなく、「自力で来所できる支援」と捉え、充実させたい
2	第三者機関との連携	児童の情報共有などより一層の対応が必要	学校・家庭など、児童を取り巻く社会資源との連携を、継続し、加えて、新しく開拓をおこなう
3	現在、利用者の年齢層が高年齢に偏っているので、新規で入られる小学生には、馴染みづらいところがある	新しいことへ取り組むための、モチベーションアップの仕組みにもう少し工夫が必要	児童たちとのなんでもない会話からの改善や新しい取り組みへ企画力アップ